

らんざん 大妻嵐山 中学校

所在地 / 〒355-0221 埼玉県比企郡嵐山町菅谷558
 TEL / 0493-62-2281
 学校長 / 榎本 克哉
 創立 / 1967年、嵐山女子高等学校を開校。大妻女子
 大嵐山女子高等学校を経て、1995年に大妻
 嵐山高等学校に改称。2003年、中学校を開校。
 URL / www.otsuma-ranzan.ed.jp

	1年	2年	3年
男子	—	—	—
女子	52名	50名	44名
クラス数	2組	2組	3組
中高総生徒数 / 481名			



〔交通アクセス〕
 東武東上線「武蔵嵐山」駅より徒歩13分 東
 武東上線「森林公園」駅、JR高崎線「深谷」「熊
 谷」「北本」「桶川」「北上尾」、西武池袋線「飯能」
 の各駅よりスクールバス

伝統の女子教育を継承しつつ、時代とともに進化

建学の精神「学芸を修めて人類のために— Arts for Humankind —」を柱に、学祖・大妻コタカがめざした「思いやりのある自立した女性」「教養豊かな聡明な女性」、社会が求める「国際的な視野を持った女性」を育成しています。また、不確実な未来を生き抜くために「探究する力」「表現する力」「感じる力」「みずから学ぶ力」の4つの力を重視。これまで実践してきた理科教育と国際理解教育をさらに発展させ、伝統の女子教育を継承しつつ、時代とともに進化させていきます。

スクールライフ

●教育内容

3学期制を採用し、土曜日にも正課の授業を配置することで、文部科学省が定めた標準授業時間数と比較して、英語では1.5倍、国語では1.4倍、数学では1.5倍の授業時間数を確保しています。理解の度合いによって放課後に補習を行い、中1から英会話講座を行うなど、生徒一人ひとりの進度にきめ細かく対応したていねいな指導を展開しています。また、長期休暇には、反復練習を目的としたゼミを開講。中1で実施する「国蝶オオムラサキの飼育・観察研究」では、レポート作成のほか、プレゼンテーションを通じて考える力と発表する力を養っています。

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	6	5	5	3	3
2年	6	5	5	4	4
3年	6	5	5	4	4
合計	18	15	15	11	11

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時間
 ※水・金曜日は6時間、土曜日は4時間
 ◎登校時間：8時40分

マネーガイド

■2024年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	250,000円	0円	0円	0円	250,000円
初年度総額	250,000円	380,000円	200,000円	294,580円	1,124,580円

●部活動

学習面以外の力をつけることも大切と考え、中学生に部・同好会に極力入部するよう指導しています。体育系の部では、成長過程にある中学生の体力づくりに配慮した指導を行っています。

- 文化系 / 吹奏楽、ギター、コーラス、書道など
- 体育系 / バスケットボール、バレーボール、サッカー、ハンドボール、バドミントン、ソフトテニス、硬式テニス、ダンスなど

●行事

サイエンス発表会では、中1は1年かけて飼育・観察したオオムラサキの研究を、中3は科学論文をスライドにまとめて発表します。大妻女子大学見学会は中1の早い時期にキャンパスを訪れ、大学の学びを体感します。また、国語の授業で鑑賞し、暗唱して臨む百人一首大会は、非常に盛り上がる行事です。ほかにも体育祭や大妻祭(文化祭)など、高校生と共に取り組む行事が数多くあります。

●修学旅行・研修旅行

中2で英会話合宿(福島・ブリティッシュヒルズ、2泊3日)があります。中3の沖縄修学旅行では、日本の歴史や伝統に触れます。また、中3では希望者を対象にしたイギリス語学研修もあります。

- ◎寄付金：なし
- ◎授業料：3期分納
- ◎奨学金・特待生制度：入試成績上位者に入学金・授業料の全額または半額の免除。当校卒業生子女または姉妹が在籍の場合に12.5万円を給付

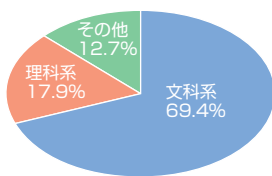


サピックスからの合格実績(過去3年) '22 8名 '23 10名 '24 7名

進学指導の概要

「ゆとりのある先取り学習」を行い、中学3年間は基礎力の定着を主眼に取り組みます。高校では進学目的別に、難関国立大学と最難関私立大学をめざす「特別進学コース」、国立大学と難関私立大学をめざす「総合進学コース」、大妻女子大学への内部進学などをめざす「大妻進学コース」と

■現役大学進学者の進路の内訳



いう3つのコースを設け、それぞれの目的に応じた指導を行っています。このほかにも高大連携や職業体験など、キャリア教育を充実させていることも

特徴です。さらに、大妻女子大学への合格を確保した状態で他大学にチャレンジできる特別推薦制度もあります。

■併設高校から主要大学への合格実績

※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	東京大	京大	一橋大	東京工業大	筑波大	お茶の水女子大	電気通信大	東京外国語大	東京学芸大	東京芸術大	東京農工大	東京都立大	横浜国立大	千葉大	早稲田大	慶應義塾大	上智大	東京理科大	
22年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
23年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
24年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—

	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	日本大	東洋大	駒澤大	専修大	国際基督教大	津田塾大	東京女子大	日本女子大	管外郎の大学	海外の大学	国立・医学部	私立・医学部
22年	2	1	—	1	—	—	4	2	—	1	—	—	1	4	—	—	—	—
23年	4	2	—	2	—	3	5	6	—	1	—	1	1	5	—	—	—	—
24年	4	2	—	2	—	3	5	5	—	1	—	2	3	9	—	—	—	—

★指定校推薦枠(2024年度) 学習院大3名、立教大1名、法政大1名、北里大1名、立命館大1名、日本大1名、東洋大8名、駒澤大1名、成蹊大2名、成城大6名、芝浦工業大3名、日本女子大5名、明治学院大3名、埼玉医科大3名、東邦大1名、東京女子大3名など

入試情報

■2024年度の入試結果

	募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
まなびカ エキスパート	30	61	61	58	1.1
1回	4科	30	260	254	1.4
	2科		122	117	
適性検査型		54	32	26	1.2
大妻特待	20	134	96	54	1.8
2回	4科	若干	91	23	1.0
	2科		56	9	
帰国生	若干	2	2	2	1.0

■2024年度 受験者の教科別平均点

	算数	国語	理科	社会	合計
まなびカ エキスパート	75.0	66.5	英語/63.5		205
1回	4科	60.5	30.1	34.5	182.1
	2科				117.5
大妻特待	39.2	59.4	25.9	36.5	161
2回	4科	65.7	17.5	25.0	165.7
	2科				123.2

○配点：算国英＝各100点 理社＝各50点 まなびカは算国英から2科選択
○合格最低点：1回4科165点・2科105点 大妻特待157点 ほかは非公表

24年の募集要項

※以下は2024年の募集要項です。2025年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日／帰国12月2日 ①まなびカエキスパート1月10日
②特待生1月11日 ③1月23日
募集人員／80名(①②30名 ③若干 まなびカエキスパート30名 特待生20名 帰国若干名)
合格発表／ホームページで即日(午後入試は翌日)
手続締切／2月5日(帰国・まなびカエキスパートは1月16日)
試験科目／国語(50分・100点)、算数(50分・100点)、英語(50分・100点)、理科・社会(計50分・各50点)
①②③は2科4科選択、まなびカエキスパートは算国英から2科、特待生は4科、帰国は総合・面接
面接／帰国 ※まなびカエキスパートは9～12月実施の事前個別面談への参加
受験料／22,000円(複数回同時出願は2回まで22,000円、以降は1回追加するごとに5000円)

公開行事・説明会予定

【学校説明会】要予約
10月27日(日)
【授業見学会・ミニ説明会】要予約
6月15日(土)、9月21日(日)
【入試・学校説明会】要予約
11月10日(日)、12月10日(日)
【入試体験会・学校説明会】要予約
12月1日(日)
【個別相談会】要予約
10月12日(土)、10月19日(土)、11月17日(日)、12月15日(日)
【オープンスクール+バス体験】要予約
7月21日(日)
【わくわくワークショップ】要予約
6月15日(土)、8月3日(土)、9月28日(土)、11月16日(土)
【大妻祭(文化祭)】
9月7日(土)、8日(日)
◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください

私立 埼玉 女子 大